

働いていると「自分の

キャリアはこの先どうなるのか」と漠然とした不

安に直面することも少な

くありません。そこで今

回は「直面する壁とその

乗り越え方」を自身の経

験を振り返りながらお話

したいと思います。

1つ目は「方向性を合

意した仲間とそれぞれ得

意なことを掛け合わせて

乗り越える」です。

家族、育児、仕事で当事

者は常に自分のため、責

任感ゆえに「全ての役割

を自分が担うべきだ」と

思い、何をしても壁のよ

う感じることがありまし

た。そんな時にこそ、子

供の個性を理解し、それ

女性管理職が語る

苦手なことをやめてみる

ムプレイが重要です。

子育ても仕事も一人でし

ているわけではないの

で、家族や友達、職場の仲

間など二人ひとりの得意

なことを掛け合わせて進

めるようにしています。

この時、大前提として

いるのが、方向性と信念

が合致している仲間とチ

ームを組むことです。

私の場合、夫が最たる

例で、4人の子供の学校

や習い事を決める時は、

得意なことを掛け合わせ

て進めています。夫は子

供の個性を理解し、それ

を導くことが得意。その

P&G シンガポール 事業部
ファブリック ディレクター
A&I

高原 直子氏



たかはら・なおこ 2006年大学院卒、P&G入社。日本で小売業における消費者と市場を分析・理解して戦略立案する職務などを経て22年6月よりシンガポールに赴任し現職。4児の母。

いと意識し、立ち止まらな

いようにはしていません。

特に、キャリアは「ア

ップ」だけという思い込

みがあるのではないでし

ようか。実際は同じ場所

で専門性を深めたり、ラ

イフステージの変化に合

わせてスピードを緩めた

り速めたり、様々な方向

があり、その時々で目標

は変わってよいのです。

私もこれまで上司や同

僚の経験談を聞きながら

キャリアの多面性を理解

してきました。一方、自

分のキャリアの責任者は

最終的に自分です。助言

を糸口に行動を起こすこ

とが、壁を乗り越えるこ

とにつな갑니다。行動

といっても難しいことで

はなく、小さいなことか

ら始めれば十分です。

最後は「苦手なことは

得意な人に任せて、壁を

乗り越えるエネルギーを

捻出する」です。

仕事や生活で自分が楽

しめることもあれば、苦

手なこともあると思いま

す。私の場合は料理が苦

手なため、得意な夫にお

願いしています。料理を

しないのは、うまくでき

ないことにストレスを感

じるより、その時間を得

から歩んでいきます。